

**【調査票2】高校生／自由記述**

Q2. あなたは誰と住んでいますか（あてはまるものすべてに○）

1. お父さん	2. お母さん	3. 兄弟姉妹
4. おじいさん	5. おばあさん	6. おじ・おばなど親戚
7. その他の人（ ）		
男性		
いとこ		
女性		
曾祖父、曾祖母		
従姉妹と従姉妹のお母さん		

Q10. あなたは放課後や休日にどこで過ごしていますか。また、どこで過ごしたいですか。平日、休日、長期休暇ごとに、一番過ごすことが多い場所、また、1番過ごしたい場所を選んでください（1つに○）

●平日どこで過ごしているか

男性
外／知り合いの家

●平日どこで過ごしたいか（希望）

男性
店舗（マック、映画館）
とくにない
女性
1人の家
どこでもいい／特に何も思わない

●休日どこで過ごしているか

男性
スポーツ施設（グラウンド、弓道場）
店舗（スターバックス、リサイクルショップ）
塾か学校
女性
塾

●休日どこで過ごしたいか（希望）

男性
店舗（リサイクルショップ、映画館）
とくにない

女性
集中して勉強ができる場所／1人の家
どこでもよい／特に何も思わない
どちらともいえない
マッサージ

●長期休暇どこで過ごしているか

男性
川や湖
女性
海外

●長期休暇どこで過ごしたいか（希望）

男性
店舗（リサイクルショップ）
レジャー（川、湖、遊園地、旅行）
全国各地／遠出
勉強できる場所
どこでもいい
女性
レジャー（カラオケ、観光地、美術館）
海外・県外
誰でも使えるフリースペース／その時やりたいと思ったことができる場所ならどこでも
恋人の家
特に何も思わない
どちらともいえない
とりあえずリラックス

Q11. あなたは放課後や休日誰と過ごしていますか（それぞれ、3つまで○）

●平日誰と過ごしているか

男性
仲間
部活仲間・後輩

●休日誰と過ごしているか

男性
----

家族
部活の仲間・後輩
どちらともいえない
部活

●長期休暇誰と過ごしているか

男性
家族
部活仲間
女性
ホームステイ先の人

Q18. あなたは今、悩みや心配ごとがありますか。

※悩みや心配事があると回答した人が下記から選択（あてはまるものすべて）

1. 勉強や進学のこと	2. 家族のこと	3. 友人や仲間のこと
4. 恋愛のこと	5. お金のこと	6. 性格のこと
7. 健康のこと	8. 見た目やスタイルのこと	9. 性や身体のこと
10. 答えたくない	11. その他（                      ）	

男性
常に何かしらに不満を持ち、何かを変えたいと思っている
人間関係
部活
女性
ボランティア
将来のこと／未来
生きていること
部活動

Q19. あなたは、いやなことや悩んでいるとき、誰かに相談しますか。

※相談先を選んだ人が以下より選択

1. 親	2. きょうだい	3. おじいさん・おばあさん
4. 叔父・叔母・いとこなどの親戚	5. 近所の大人	6. 学校の友だち
7. スクールカウンセラー	8. 塾や習い事の先生	9. こども専用の電話相談
10. インターネットやサイトなどを通じて知り合った直接会ったことのない人		
11. 学童保育の先生	12. 答えたくない	13. その他 ( )
男性		
彼女		
女性		
カウンセラー		
恋人		

Q25. 結婚したくない、わからないと回答した方におたずねします。理由は何ですか。

1. 自由に趣味や娯楽を楽しみたいから	2. 仕事（学業）に集中したいから
3. 行動が制限されるから	4. 家族扶養の責任が生じるから
5. 自由になるお金が減るから	6. 他人との生活はストレスがたまるから
7. 親元から離れなくてはならないから	8. 自分の健康上の理由
9. 答えたくない	10. その他 ( )
男性	
1人の方が楽しいと思っているから	
するしない以前にできるかできないかの問題だから／できるような顔じゃないから	
愛する人が見つかっていないため	
興味が無い	
結婚するメリットが思いつかない。	
好きな人ができたら考える	
結婚出来ない／考えたことがない	
なんとなく／わからない	
女性	
うまく結婚生活を送れる自信が無いから	
まだ、学生なので分からない	
結婚したいと思うか思わないかはその時にならないとわからないから。	
結婚の良いイメージがない	
自分の嫌なところを見せるのが嫌だから	
自分の両親の仲が悪いから。	
自立ができてその生活で十分なのなら必要ないかと考えるから	
世の中浮気と離婚ばかりだから。	

どちらともいえない
相手を幸せにできる自信がないから
答えたくない
結婚する必要性が理解できないから
恋愛が分からないから

Q 2 6. あなたが結婚相手に求める条件として重視するものは何ですか（3つまで）

1. 相手の学歴	2. 相手の職業	3. 相手の収入など経済力
4. 相手の人柄	5. 相手の容姿	6. 共通の趣味の有無
7. 自分の仕事への理解・協力	8. 家事や育児の能力・姿勢	9. 答えたくない
10. その他（ ）		

男性
すべて
愛嬌
安心感
学があると良いなって
金銭感覚
今の彼女
自分を愛してくれるという信頼
浮気しない人
理解力
女性
まだ、学生なので良く分からない。
愛
自分を理解してくれる人
笑顔がいちばん
絶対的安心感
冷静に話し合えること

Q 2 7. あなたの結婚のイメージに近いのはどれですか（3つまで）

1. 経済的に余裕ができる	2. 社会的信用を得られる、周囲と対等になれる
3. 精神的な安らぎを得られる	4. 愛情を感じている人と一緒に過ごせる
5. 愛情を感じている人と一緒に過ごせる	6. 自分の家族や子どもが持てる
7. 生き甲斐ができる	8. 親から独立できる
9. 親を安心させることができる	10. ひとりの時間が減る
11. お金の自由がなくなる	12. 家事負担が増える
13. 答えたくない	14. その他（ ）

男性
自由が無くなる
女性
精神的に苦痛に感じる事が多くある
不満が溜まる

Q29. Q28（将来、子どもが欲しいと思いますか）で子どもが「1. 欲しい」とお答えした方におたずねします。あなたが理想とする子育てのライフスタイルを教えてください（どれか1つ）

1. 正規雇用で育児休業制度などを使わず、子を持つ前と変わらない条件で働きたい
2. 正規雇用で育児休業制度や短時間勤務制を利用しながら働きたい
3. 非正規雇用で都合の良い時間にだけ働きたい
4. 一定期間は働かずに自分で子育てしたい
5. わからない      6. 答えたくない      7. その他（                      ）
男性
働きたくない

Q30. Q28（将来、子どもが欲しいと思いますか）で「2. 欲しくない」、「3. 未定、わからない」とお答えした方にお聞きします。理由は何ですか。（3つまで）

1. 子育ては大変そうなイメージがある	2. 仕事と子育ての両立が難しいと感じる
3. 経済的に負担がある	4. 精神的に負担がある
5. 時間にゆとりがなくなる	6. 配偶者・パートナーとの時間が無くなる
7. 答えたくない	8. その他（                      ）
男性	
一人でいたい	
子育てのイメージがあまり持てていない	
子供を十分に育てられる自信がない。	
子供好きじゃない	
相手が欲しいなら	
わからない／考えたことがない／イメージが湧かない	
女性	
結婚したくないから	
結婚するかわからないから	
産むのは経済的にも身体的にも大変だから	
子供があまり好きでは無い／子供が嫌い	
自分が親だと子供が可哀想だから	
自分の体では子どもを産み育てられるかわからない。	
生まれてこさせることに罪悪感がある	

生理的に無理
学生なので、そこまで考えられない
どちらともいえない
自分と同じ遺伝子が入ることになるので同じ痛みや苦しみを子供が味わうこと、自分が子供を傷つけてしまうリスクがあるから。
答えたくない
わからない

Q31. 子育ての楽しさや大変さについて学んだり、考えたりする機会がありましたか。  
(どれか1つ)

1. 学校等で機会があった	2. あった気がするが具体的には覚えていない
3. 今まで機会がなかった	4. 答えたくない
5. その他 ( )	
男性	
家	
姉や従兄弟から直接聞く	
親が保育士	
女性	
YouTube	
周りのママ友の子供の面倒を見る	
弟	

Q32. 今後県が力を入れた方がいいと考える少子化対策・子育て支援はどれですか。  
(3つまで)

1. 結婚支援のための出会いの場の創設
2. 進学のための奨学金給付
3. 保育所や放課後児童クラブ等の充実
4. 病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実
5. 屋内外の子どもが遊べる場所の整備
6. 残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進
7. 妊娠・出産による離職者の再就職等の支援促進
8. 若者の就労支援（就職活動方法の支援も含む）
9. 医療費の助成や小児医師の確保、不妊治療の支援
10. 妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化
11. 家庭での家事・育児援助(ファミリーサポートセンターなど)や子育て支援事業の充実
12. 児童虐待対策の推進
13. 男性の子育て参加の推進
14. いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー等困難な状況にある青少年への

支援 15. 未就園児の支援 16. 答えたくない 17. その他 (                      )
男性
出産一時金の削減
奨学金は大学卒業後の負担になるだけで、見栄えのいい借金でしかないため、学費を県が負担したり、子育て世代の税金の控除などを行うべき／返さなくていい奨学金
少子高齢化
全部
女性
1人の子供に生涯を通してかかるお金が高すぎて、育てられる子供の数が少なくならざるを得ないと母が言ったので、学費や医療費など大幅に安くするべき。お金を給付するのではなく、元の金額を下げる方がいいと思う。
障害のある子への援助
低所得者が子供を産むことに経済的に後ろめたさを感じないよう、支援金や大学、病院の治療の費用等の免除をもっと増やして欲しい。
無料でいつでも使える広い自習室